

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270101744		
法人名	アサヒ電器株式会社		
事業所名	グループホーム陽だまりの里		
所在地 (電話番号)	〒030-0943 青森県青森市幸畑字阿部野163-331 (電話) 017-764-5670		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年3月27日	評価確定日	平成21年5月7日

## 【情報提供票より】(平成21年2月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 11月 24日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	13人, 非常勤 2人, 常勤換算 14.6人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	9,000~冬期15,000 円
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,100 円		

### (4) 利用者の概要(2月25日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	8 名	要介護4	4 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.6 歳	最低	76 歳	最高	87 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ファミリークリニック、協立病院、ミナトヤ歯科
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームはリンゴ畑に囲まれ、道路を挟んだ向こう側には住宅や会社等の建物が並び、静かな側面と、地域社会との繋がりを実感出来る環境にある。内部は1丁目・2丁目と命名された2ユニットである。職員は、入居者個々の喜怒哀楽を全面的に受けとめ、笑顔を引き出すことに努め、楽しく活気のある生活を共に送っている。また、生活の知恵の再獲得や認知症進行を防ぐ目的で、公文の学習療法を取り入れ、日中活動に於けるウェイトも大きく、知的な部分での活性化に加え、精神面の安定に効果が見られている。併せて職員のコミュニケーション能力のスキルアップも図られている。地域との関係も密接であり、町内会に入会し、定例会や総会に出席すると共に、情報交換やホーム行事への協力体制を確保している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員育成に関して外部研修の参加を確保したものの、内容については口頭やメモ的な報告になっており、復命の部分で改善が望まれる。災害対策の面ではホットラインを活用した通報訓練が行われ、地元消防団や地区住民に事業所見学を行ってもらい、避難経路についても説明し、有事の際の協力体制を確保している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者が自己評価を行い、全職員に確認してもらい、出された意見については再度全員で確認し合い、理念をベースに具体的な改善策を打ち出し実践している。ホームのみで完結できない点については、優先順位を付け長期的に取り組む体制が出来ている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期に開催されており、ホーム側からは活動状況や地域への協力依頼、又、外部評価の結果と改善事項への取り組み等の報告が行われている。参加メンバーからも率直な意見や要望等が出され、サービス向上に繋がっている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>玄関に意見箱を設置し、家族や外来者が気軽に意見を出せるように配慮している。又、面会の折には状況報告に努め、家族としての繋がりが維持されるよう目的を持ち対応している。出された意見については、都度対策を講じ、経過についても報告を行い、忌憚りの無い意見が、生活の質を向上させる効果を持つ事を認識されるよう働きかけている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>季節や天候に合わせ、日常的に外出の機会を持ち、地域住民とも顔なじみの関係が構築されている。町内会や婦人会に入会し、定例会や総会に参加、地域の一員として交流している。ホーム周囲の草取りを自発的に手伝ってくれたり、休耕の畑を貸してくれたり隣近所の付き合いも活発である。ホーム主催の夏祭りにも地元住民の来場が多く、定例化している。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	笑顔で楽しくをキーワードに地域と共生するという事業所独自の理念を作り上げ、地域密着型としての意義も網羅されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有し、日々の打ち合わせの中で確認を行い、その人らしい生活が継続されるよう取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	3ヵ月に1回、町内会や婦人会の定例・総会に参加し、地域の一員として付き合いをしている。ホームの周りの草取り等のボランティアに来てもらったり、畑でとれた野菜を近所の方が届けてくれたりと日常的に行き来している。又、婦人会の方たちが夏祭り等の行事に協力参加してくれたり、保育園から踊りの慰問もあり、活発に楽しく交流が持たれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践する為の制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者が自己評価を行い、全職員が閲覧し内容を確認している。疑問点については意見を出し合い、改善に繋げたり、業務の振り返りを行い、共通認識の基に介護展開が行われている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回、定期的開催され、ホームの活動や地域に希望したい事、また外部評価の結果や改善事項に対する取り組み状況、認知症への理解や感染症の事案に対する報告等が行われている。参加メンバーからも要望や意見等が活発に出され、サービスの向上に反映されている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者とは話し合いの場が確保出来ず苦慮している状況である。会議の案内を出しているものの、協力体制が希薄である。</p>		<p>市の担当者へは報告ばかりでなく、運営や実情を伝えるために課題等に向けての協議をしながら、連携して入居者のサービス向上に取り組まれる事を期待します。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員間で学習会を行い、知識を得て、入居時の契約の場面で入居者や家族へ情報提供している。現在制度を利用されている方が1名おり、地域包括支援センターと連携し入居者の権利保護に努めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>関連法のマニュアルを活用し、虐待防止は周知徹底されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書を基に詳細に説明し、不安や疑問を取り除き納得してもらった上で契約を取り交わしている。又、契約書は2部作成し、署名・捺印を得、事業所と家族がそれぞれ同じものを保管している。		
10	12	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回、陽だまりの里通信を発行し、生活の様子を報告している。又、面会時にも状況報告し、家族としての繋がりが維持出来るように配慮している。金銭管理については、預かりを行わず、全て立替え払いで、領収書と引き換えに徴収している。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にホーム内外の相談苦情窓口について明示している。また、意見箱を設置しており、意見や要望、苦情等を出してもらうように話している。2ヶ月に1回開催している運営推進会議にも参加して頂き、意見を述べてもらい運営に反映させている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新任職員については入居者1人ひとりに紹介を行い、受け入れがスムーズに行われるよう配慮している。退職時は早めに報告し不安の発生を防いでいる。ユニット間でも職員と一緒に行事等行っており、顔なじみになっている事から異動等による影響は少ない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員を対象に年間を通じて外部研修の機会を確保し、職員を育成し質の向上に努めている。資格取得に向けても学習会の参加をバックアップしているものの、効果の伝達が上手く機能していない。		外部研修参加の報告が口頭や散文的な内容に止まり、効果の伝達が十分に機能していない。復命書や報告会を行い全職員が情報・知識を共有しサービスに反映させるよう報告体制を整備することを期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会主催の研修参加や、包括支援センターが主催する近隣のグループホームとの意見交換、勉強会へ積極的に参加している。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族から、入居までの社会生活や人間関係等細かく情報収集し、関係を断ち切らず生活が継続されるよう支援している。馴染みの場所に出掛けたり、友人との連絡を仲立ちしたり、関係や環境づくりを行っている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者から縄編みや畑づくり、生活の知恵を伝授してもらいながら、共に暮らし、支え合う生活が展開されている。残存機能を活かし生活への意欲や有用感を引き出している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>個々の生活歴を職員間で共有し、その人らしい生活の継続を優先しながら、希望や思いを把握し、本人本位のサービスを提供している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族から情報収集し、センター方式を使用してアセスメントを行い、本人がより良く暮らす為のケアや課題を浮き彫りにし、意見や気付きを出し合いながらチームで介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的にあるいは状態変化があった時はその都度、介護計画の見直しを行い、作成した計画をファイルし職員間で確認出来るようにしている。但し、その根拠となるカンファレンスの記録が整備されていない。</p>		<p>介護計画の見直しは適宜行われファイルされていますが、その根拠となるカンファレンスの記録はケアのプロセスを明確化し方向付けをする為にも不可欠と考えられます。実施した日時、参加者、内容について記録を残し、計画に沿った援助が継続される事を望みます。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院や買い物希望には随時対応し、天候に応じて外出や散歩を兼ねた外気浴等を行っている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望により、入居前のかかりつけ医への受診援助を実施している。必要に応じて入院の紹介状の依頼や、専門医への紹介も行ってもらっている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアについてはマニュアルをもとに基本方針を作成し、入居時に説明している。また、状態急変時に家族に意思確認し、かかりつけ医と連携し、希望に応じている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	自室にて排泄(オムツ交換)介助していたが、入り口の扉が開きおり外部から見える状況であった。		常態化された介護体制とは考えられませんが、予測困難な状況の発生からの緊急対応だったとしても、入居者の尊厳を優先した援助に心掛けていただくことを希望します。
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る範囲で食事の準備を手伝ってもらったり、畑作業や観葉植物を育てたり、散歩や趣味活動等本人の希望やペースを大事にし支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事は職員と一緒に準備や片付け等行っている。懐かしい料理や調理の仕方を教えてもらったりしながら、昼食は同じメニューを一緒にとっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回以上入浴が出来るように体制を整え行っている。又、浴槽も広くゆったりと安全に気持ちよく入浴出来るように配慮されている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の準備や片付け、洗濯たたみ、畑作り、趣味活動等一人ひとりが楽しんで行えるように支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>年間での行事が計画されている他に、天候や希望に合わせて随時ドライブや散歩、買い物等外出出来るよう支援している。冬期間はかかりつけ医に受診した後に買い物というパターンが多く、入居者の楽しみのひとつになっている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者の人権を守る事がケアの原則という認識に立ち、身体拘束はされていない。管理者を中心に職員間で拘束は行わないという意識確認が出来ている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠し、日中は鍵をかけず出入りは自由である。単身で外出した際は職員がつかず離れず付き添い、安全を確保している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年2回実施、地元の消防団や地域住民の協力体制も確立されている。昨年は実際にホームの中を地域の消防団や住民の方に確認して頂き、避難経路について説明を行い有事の際の協力を依頼している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同法人の有料老人ホームの栄養士に献立のカロリーを確認してもらい、栄養量や水分量は確保されている。実際の摂取量もきちんと記録に残され状態変化時の対応に効果を上げている。又、個々の嗜好を把握し食思低下時等に補食として提供している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成し、手洗い、うがいを励行して予防策を講じている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
34	78	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの居間兼食堂、台所等は広々としており、木目調の落ち着いた雰囲気与生活感や季節感が感じられる。トイレが共同で窓がない作りになっているが、バケツに汚物が入っていた。又、消火器具や暖房器具の前に長椅子等が置いてあり、避難通路が確保されていない。		トイレの換気、消臭や避難通路の確保について職員全員で検討することを期待します。
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の生活の匂いが感じられる空間になっており、馴染みの家具や家族の写真で装飾されたり、自分で育てている観葉植物の鉢を部屋いっぱい飾ったりして、思いおもいの暮らしぶりが伺える居室になっている。		

 は、重点項目。